



はあとふる ふくしま

特集

“あなたの一番身近な相談相手”
民生委員・児童委員、主任児童委員

シリーズ

[未来へつなごう“ふくしま”から]
悩みを抱える子どもたちにとって居場所のある地域を目指して

西郷村の
ちいさな子ども食堂
手作りの甘いカレーは
みんなの大好物です

(西郷村 ほっこりキッチン宝っ子)



「はあとふるふくしま」は作成経費の一部に、共同募金配分金及び特別賛助会員の寄付金を使用しています。

目の不自由な方のために「はあとふるふくしま」は音訳版および点訳版を作成しています。

“あなたの一番身近な相談相手” 民生委員・児童委員、主任児童委員

民生委員・児童委員、主任児童委員(以下「民生委員・児童委員」)は
悩みを抱える方と関係機関をつないでくれる「一番身近な相談相手」です。

今回の特集では、令和6年に実施した実態調査を参考に、
民生委員・児童委員が安心して活動できる環境づくりの取組について紹介します。



民生委員・児童委員には守秘義務が課せられているため、相談した方の秘密は固く守られます。

民生委員・児童委員とは？

自治体から推薦されたのち、厚生労働大臣から委嘱される特別職の地方公務員です。

民生委員・児童委員は高齢者や障がい者のいる世帯、子育て世帯等を見守り、訪問するなどして相談に乗ります。必要に応じて、情報提供や行政・専門機関等との連絡・調整をし、適切な支援につなげます。

民生委員・児童委員に相談したい方は、お住まいの市町村にお問い合わせください。

現在、調査の中間結果が取りまとめられたところです。その結果を参考にしながら、県民児協として取り組んでいる内容や実際に民生委員・児童委員として地域で活動する方の声を紹介していきます。

近年、急激に進む人口減少などにより、全国的に民生委員・児童委員が不足している状況にあります。そこで福島県民生児童委員協議会(以下「県民児協」)は、民生委員・児童委員の活動の実態を把握し、より活動しやすい環境づくりを検討していくため、県内の民生委員・児童委員約4800人を対象とした実態調査を進めています。

■ 民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりに向けて

民生委員・
児童委員のこと
教えて！

皆さんに寄り添い、地域を支えることが
私にとってのやりがいです！

■ 民生委員・児童委員は
チームで支え合っています

過去にも県内の民生委員・児童委員に対する調査はありましたが、今回全委員を対象とした福島県独自の大規模な調査を初めて行いました。調査結果の全体的な印象としては「民生委員・児童委員は「やりがい」と「地域での必要性が高い」と感じている方が多いようです。

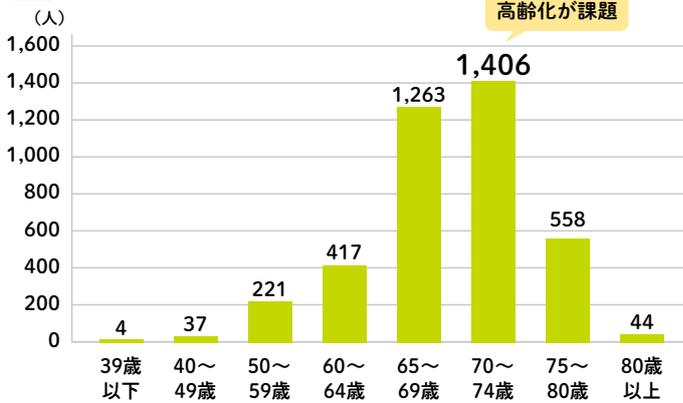
（図1・2）

また、民生委員・児童委員の年齢層について一番割合が高いのは「70歳～74歳」でしたが、「39歳以下」の方も数名いらっしゃいます。こうした若い世代の方も、民生委員・児童委員として活躍しております。

今後さらに裾野を広げていくため、若い世代にも周知を図る必要があると改めて感じました。（図3）

今回の調査で把握したことを活用し、今後民生委員・児童委員の担い手確保や環境整備につなげたい

図3 年齢（令和6年9月1日時点）



民生委員の
高齢化が課題

境改善に取り組んでいきたいと考
し、民生委員・児童委員の活動環
境改善に取り組んでいきたいと考
と
思
っ
て
い
ま
す。
さ
ら
に、
県
や
全
国
民
生
委
員
児
童
委
員
連
合
会
な
ど
も
調
査
結
果
を
共
有
し、
民
生
委
員
・
児
童
委
員
の
活
動
環

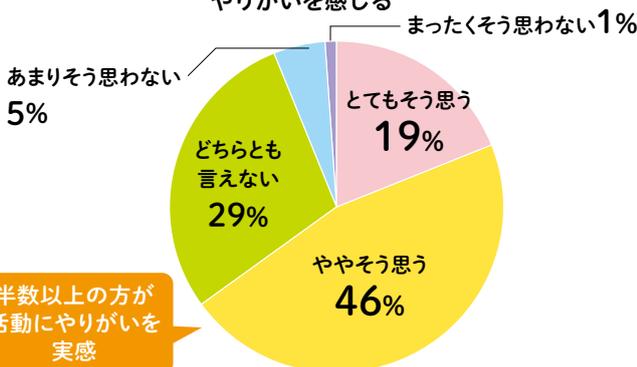


福島県民生児童委員協議会副会長
活動企画部会長
やぶき こうざん
矢吹 孝三さん

えています。

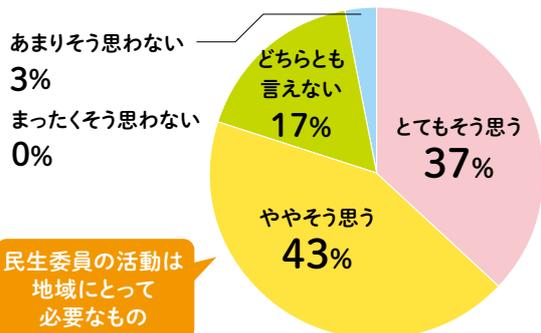
民生委員・児童委員活動にとつて重要なことは「連携」です。民生委員・児童委員は医療や法律の専門家ではありません。私たちが解決するということよりも、適切な組織・機関とのつなぎ役になるのが役割です。例えば、お金に困っているという場合には社会福祉協議会などに相談するようアドバイスします。また、「いつも子どもの泣き声が聞こえてくる」といった相談を受けたら児童相談所などにつなぎます。民生委員・児童委員に選ばれたからといって、なんでも一人で抱え込む必要はありません。同じ民生委員・児童委員の仲間をはじめ、協力してくれる人がたくさんいるので安心して活動ができています。

図1 委員活動に対するお気持ち
やりがいを感じる



半数以上の方が
活動にやりがいを
実感

図2 委員活動に対するお気持ち
有意義（必要不可欠）な活動である



民生委員の活動は
地域にとって
必要なもの

出典「令和6年度 福島県内民生委員・児童委員、主任児童委員を対象とした実態調査」

浅川町の民生委員・児童委員の皆さんに聞きました



民生委員・児童委員の やりがいや魅力は何ですか？



民生委員・児童委員
おたに みきこ
大谷 三起子さん (4期目)

一人でなく
地域のみんなで
支えられる

相談を受けた住民から「助かっているよ」などと感謝されると、大変なこともありますが民生委員・児童委員を引き受けてよかったですと思います。

民生委員・児童委員
つのだ しょういち
角田 尚一さん (1期目)

家庭訪問して趣味の話や思い出話を
お聞きし、帰り際に言われる「ありが
う」が一番うれしく、住民の役に立っ
ているとしみじみと噛みしめることが
できます。



地元の住民を
支えていると
実感できる

民生委員・児童委員
てらかど ひろゆき
寺門 廣之さん (1期目)



一人一人の
生きがいに
貢献できる

話をしたい、聞いてほしいという孤独
な思いを抱えている住民から相談を受
け、それぞれが目標を見付けて、新しい自
分に挑戦する姿を見られるのがやりが
いです。

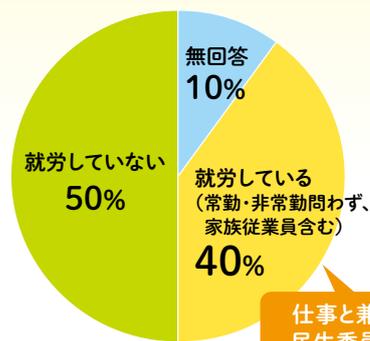
主任児童委員
おおや えいこ
大谷 栄子さん (2期目)

子育てを支援する「ニコニコ広場」で
とある親子と知り合い、お子さんに絵本
の読み聞かせなどをしているうちに気持
ちが通い合うようになり、うれしくな
りました。



気持ちが
通い合うのが
一番うれしい

図4 現在の就労状況



仕事と兼務で
民生委員活動
している方も多い

■仕事をしながら活動 地域でも頼られる存在に

若い世代の方にも、民生委員・児童委員として一層活躍いただきたいです。そのためには、仕事をしながらでもやりがいを感じながら長く民生委員・児童委員を続けていただく体制づくりが急務です。今回の調査では、就労しながら委員活動を行っ

ている方が40%でした。(図4)ただ、仕事の都合で定例会などに参加できないといった悩みも耳にします。そのため、県内の各民児協では定例会の在り方を検討しています。また、活動上の問題があるときは、先輩委員が悩みを聴いたり、民生委員・児童委員協議会の事務局と相談したりしながら活動をしています。私にとって人を助け、地域を支え、

感謝してもらえることが民生委員・児童委員としてのやりがいです。困っている人に寄り添い、笑顔を見せてくれた時に「やっていてよかった」と思います。民生委員・児童委員は特別な存在ではなく、皆さんの一番身近な住民の相談相手です。何か困っている、誰に相談したらいいかわからない、などの悩みをお持ちでしたら気軽に私たちに「ご相談ください」。

地域共生社会の実現へ共に取り組みたい

浅川町の民生委員・児童委員事務局を担当する保健福祉課の水野さんに、委員の皆さんに担ってもらっている役割、担い手確保に向けて思うことなどを伺いました。

■ 民生委員は町の福祉に不可欠の存在

中通りの南部に位置し、阿武隈山系の雄大な自然が広がる浅川町には約5800人の住民が暮らしています。民生委員・児童委員は、26の行政区に対して18名、うち児童福祉に特化した主任児童委員2名を配置しています。委員の皆さんには、生活環境や福祉的課題が複雑化する中、地域住民からの相談に応じたり、福祉サービスのつなぎ役になってもらうなど、行政の目が届きにくいところをカバーする重要な役割を担っていただいています。

区長や前任の委員から推薦されて就任する方が多いようですが、どなたも地区のことを知り尽くした方ばかりです。家庭訪問をして見守り活動や安否確認する中で、事

務局とさまざまな情報を随時共有しています。そうしたやりとりを通して町として初めて分かることもあるので、福祉行政にとって民生委員・児童委員はなくてはならない大切な存在です。

■ 委員の皆さんが活動しやすい体制づくりに向けて

浅川町では、幸い民生委員・児童委員の定員18名を満たしており、欠員なく活動を行うことができている。けれども中には「働きながらの活動は大変だった」といった声も聞かれたため、月1回昼に行っている定例会を夜に変更するなど、委員の皆さんがより活動しやすい体制を考えていく必要性も感じています。事務局としては、どんな問題も気軽に相談できる風通しのよい関係を築いていきたいと考えています。



浅川町
保健福祉課 主任主査
(民生委員・児童委員担当)
みずの たく
水野 拓さん

■ やりがいや充実感を 感じながら今日も

各委員の皆さんには日頃から積極的に活動していただいております。定例会でも活発な意見が寄せられています。一方、町では高齢化が進んでいるほか、一人暮らしの高齢者が増えており、世帯ごとにさまざまな事情を抱えています。また、人口は減少しているものの世帯数は横ばいで推移しており、核家族化が進む中で孤立する子どもたちの見守り活動の重要性が増しています。こうした状況で行う訪問は大変な面もあるかと思いますが、今回誌面にご登場いただいた委員の皆さんのように、日々の活動を通してやりがいや充実感を感じられる方が多くいらっしゃいます。地域共生社会の実現に向けて共に取り組んでいきたいと考えています。

民生委員・児童委員活動には「行政活動*1」と「自主活動*2」がありますが、個人情報取り扱いや活動範囲の不明確さに悩むといった声も聞かれます。今後の担い手確保に向けて、本来の役割が発揮できるように活動の見直しを含めた環境整備が必要になると思います。さらに、現役委員の皆さんから語られる活動を通じた楽しさや喜びが大きいことも、広く発信していきたいですね。

*1行政活動：要援護者の調査など
*2自主活動：サロン活動の協力など

活動環境の整備とともに やりがいや喜びの発信を



全国社会福祉協議会
民生部長
ひらい つかゆき
平井 庸元さん



悩みを抱える子どもたちにとって 居場所のある地域を目指して

取材協力

福島大学 BBS 会

福島市金谷川1番地



2024年9月に福島大学にて行った地域の居場所づくりのための小学生向けイベント。学生スタッフを含め60人が集まり、大学生と子どもたちが交流しました。



定期的に行っている学習支援活動。当日は勉強・昼食・お楽しみ会と企画が盛りだくさんです。

生きづらさを感じる 子どもや若者を支援

福島大学のボランティアサークル「福島大学BBS会」では、悩みを抱える子どもたちの非行防止、行き場のない人の心の居場所づくりに取り組んでいます。BBSとは「Big Brothers and Sisters」の頭文字で、フラザーズアンドシスターズ（Big Brothers and Sisters）の頭文字で、生きづらさを感じる子どもや若者に兄や姉のように寄り添い、立ち直り支援に向けて活動している団体のこと。全国に約500会があります。

「私が着任した時は県内の大学にBBS会はなく、授業を通じて参加を呼びかけたところ更生保護に興味・関心のある学生が集まり、2022年に発足しました」と話すのは顧問を務める高橋有紀准教授（たかはしゆき）。

専門分野は法学で、犯罪を犯した人の立ち直りを地域で支える更生保護制度を中心に、犯罪・非行にかかわる問題を「生きづらい人に居場所のある地域を」という観点から研究しています。同会には現在22人が在籍しており、「広報活動」、「研鑽活動」、「ともだち活動」の3本の軸を中心に活動しています。

広報活動

日頃の活動について発信する

研鑽活動

活動に必要な心構えや知識を習得する

ともだち活動

若者に寄り添って立ち直りを支援する

「誰一人取り残されない社会」 の実現に向けて

「私は心理学を専攻しています。授業で地域に溶け込めずに犯罪を繰り返す人がいることを知り、関心を持ちました」と話すのは会長の黒森颯太さん（くろもり そうた）。

また思い出深い活動を執行部の小野田和気さんに尋ねると「とも



赤い羽根で ささえあい

社会福祉法人 福島県共同募金会

〒960-8141 福島市渡利字七社宮 111 (福島県総合社会福祉センター内)
電話 024-522-0822 FAX 024-528-1234
メールアドレス akaihane@axe.locn.ne.jp
ホームページ <https://akaihane-fukushima.or.jp/>

皆様の募金により、
「つながり」が生まれています。

東日本大震災から14年を迎えました。復興・災害公営住宅や避難先、転居先での新たなコミュニティづくり、避難解除となった地区や津波などで被災した地区のコミュニティの再生を目的とした地域活動を支援するため、福島県共同募金会では「令和6年度赤い羽根『災害ボランティア・NPO活動サポート募金2』被災地住民支えあい活動助成事業」を実施しました。今月号では、今年度助成を受けた団体からお寄せいただいたメッセージをご紹介します。



市営住宅久之浜東団地自治会

助成事業名：久之浜東団地交流会事業（クリスマス会）

団地の一人暮らし世帯の孤立を防ぐこと、新しい住民の方にも地域になじんでもらえることを目的に、令和6年12月、クリスマス会を開催しました。自治会の役員と団地各階の班長会議で事業内容と役割分担について打ち合わせを行い、開催日と内容について各世帯に案内チラシの配布と団地内の掲示板で告知しました。当日は、45名もの参加者があり、集会所内で会食とカラオケ大会、ビンゴゲーム大会を楽しみました。自治会長がサンタクロースに扮し、参加した子どもたち一人ひとりにお菓子をプレゼントしました。参加した方からは「久しぶりに再会した人がいて、お互い元気に暮らしていることが分かり安心し、うれしかったです」「子どもたちはサンタさんの登場に大喜びでした。世代の違う住民同士が楽しく交流できるイベントの開催をこれからも希望します」との声がありました。

ご寄付をいただいた皆様と自治会スタッフの協力で無事にイベントを開催することができました。心より御礼申し上げます。住民の皆さんに喜んでいただけたのが何よりもうれしいです。今後も住民同士の交流の場を増やし、お互いに笑顔で元気に暮らしていきたいと思

います。



福大BBS会の公式X (旧Twitter) アカウント。活動の報告やBBSに関する情報を発信しています。

ぜひチェック
してください!



左から小野田さん、黒森さん、高橋准教授。他大学のBBS会との交流も深めていきたいと意気込んでいます。

「だち活動」に参加した子どもたちのたくさん笑顔、喜ぶ姿が印象的で、親御さんからも感謝のメールをいただきました。企画が実現していくまでの過程は大変でしたが、その分達成感も大きく、やって良かったと思います」と目を輝かせます。

今後は、より生きづらさを感じる人のサポートをすること、会員を増やすことの2つが目標だそうです。「現在は福島市で開催している『ふれあい教室』[※]で学習支援を行っています。ですが、私たちが気付けていない「より支援を必要とする人」に手を差し伸べて、寄り添っていききたいです。また、活動の幅や規模を大きくするために会員数を増やしたいです」と黒森さんは意気込みを見せます。

高橋准教授に学生に期待することを知ると「若い人ならアイデアでどんどんチャレンジしてほしいです。そして私たちの活動を知って、何か力になりたいと思ってくれる人が増えれば」と期待を込めて語ってくれました。「誰一人取り残されない社会」の実現に向かい、福島大学BBS会はこれからも生きづらさを抱える子どもたちに寄り添い続けます。

※何らかの理由で、学校に行けずに悩んでいる福島市内の小・中学生が通う教室のこと



県社協からのお知らせ

第28回いきいき長寿県民賞について～皆様からの推薦・応募をお待ちしています～

いきいき長寿県民賞は、**年齢を感じさせない生き方をしている高齢者の方や積極的に社会参加活動を行っている高齢者団体**を広く県民に紹介し、その功績を表彰するものです。みなさんの周りに、お心当たりの方(団体)はいませんか? ぜひ、ご推薦・ご応募ください!

募集期間 令和7年5月15日(木)～7月8日(火)

※当日消印有効

募集対象

- 主体的に社会とのかかわりを持ち続け、現在もいきいきと年齢を感じさせない生き方をしている概ね65歳以上の方
- 主体的に社会とのかかわりを持ち続け、現在も積極的に社会参加活動をし、いきいきと充実した生活を送っている概ね65歳以上の方で構成されている団体

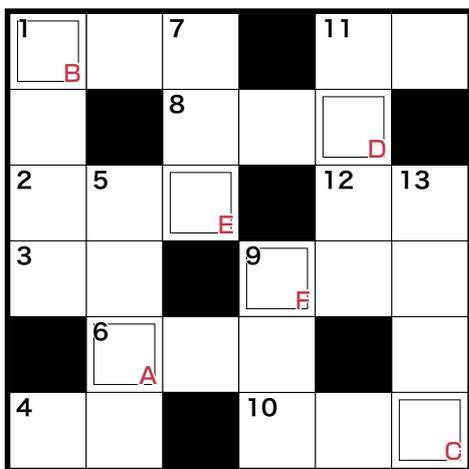
※過去にいきいき長寿県民賞(いきいきライフ賞を含む)を受賞された方やエイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例に決定された方などを除く。



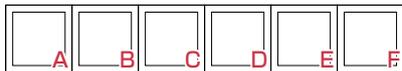
お問い合わせ先

福島県社会福祉協議会 いきいき長寿室 いきいき長寿県民賞係
電話 024-524-2224 FAX 024-524-2228

クロスワードにチャレンジ!



全部できたら二重ワクの文字をABC順に読んでいくと、それが答えです。



ヨコのカギ

- 中国北部・モンゴルから飛んで来る厄介なもの
- 中学校からは「美術」になります
- ヨコ⑥を表すアルファベット
- ⇔ イエス
- ⇔ 西
- 別名「アキツ」「勝ち虫」。漢字で「蜻蛉」
- 白米のご飯、酢飯の隠語
- 健康的な生活習慣やワクチン接種などで
- ⇔ 負け
- ⇔ 母

タテのカギ

- 白血病のタテ⑬のためバンクヘドナー登録を
- ミルクやタテ⑦を入れないものは「ブラック」
- 調味料の「さしすせそ」の「さ」
- 図書館の専門的職
- シンデレラの馬車に変身した野菜
- 医者が病氣や怪我を治すこと

応募方法

ハガキまたはEメールにパズルの答えと ①住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、業種 ②本誌に対するご意見、ご感想、ご要望を全てご記入の上、ご応募ください。

締切

令和7年4月15日(火)

宛先

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111
社会福祉法人 福島県社会福祉協議会「はあとふる・ふくしまパズル係」

メールでの応募はこちら!



正解者の中から
抽選で3名に
プレゼントが当たる!



今月のプレゼント

共働作業所ピーターパン
(会津美里町)

マドレーヌやクッキーが盛り
だくさんの焼菓子のセット

当選者の発表は商品の発送を
もって代えさせていただきます。

多数のご応募ありがとうございました

2月号の
正解 「ヒゴロノソナエ」
(日頃の備え)

※ご記入の個人情報は適切に管理し、目的以外に
使用しません。

※本誌に対するご意見、ご感想、ご要望の一部
は、「読者のおたより」に掲載させていただく
場合もございます。



1月号に寄せられた 読者のおたよりから

介護助手の導入、歓迎
します。人手不足でも選
べて通れない介護、み
んなができる形で参加で
きたら、笑顔が増える
と思います。(69才主婦)

どのページも文章、タイトル、
写真、イラスト等が見やすく分
かりやすくレイアウトされていて、
すばらしい情報誌になっていま
す。表紙の写真も毎号goodで
す!(67才 民生児童委員)

「瓜生岩子」の名前は知って
いましたが、今回の記事
を読んで、明治から令和まで
受け継がれていることを知り
ました。とても勉強になりま
した。(72才 民生児童委員)

編集後記



総務部
むらしま かつのり
村島 克典

間もなく年度が切り替わる時期になりま
した。しかし、年度は変わっても福祉
サービスの利用者に対する支援は継続し
ていきます。各地域において、長年にわ
たり、継続して住民の方々を支援してい
る民生委員・児童委員活動は県内の福祉
向上に大きく寄与していることは間違い
ありません。民生委員・児童委員の皆様、
ありがとうございます。